

TOTO

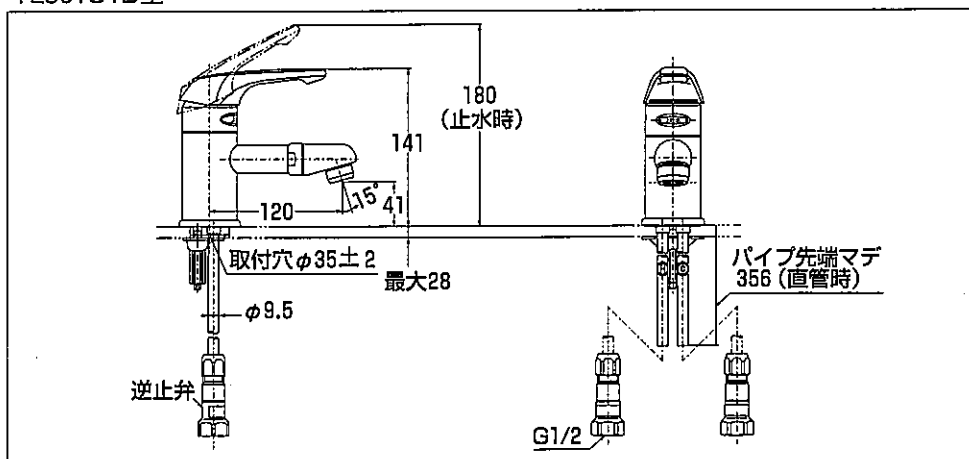
洗面器用シングルレバー混合栓

TLJ31U1D型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

完成図

TLJ31U1D型



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧…(表参照)
最高水圧………0.75MPa

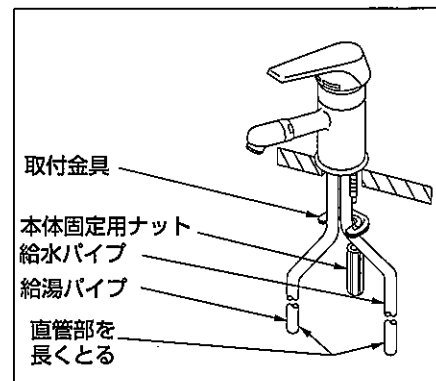
〈設定条件〉

- レバーハンドルは全開
- 吐水温度：38℃
- 給湯配管長さ：5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする

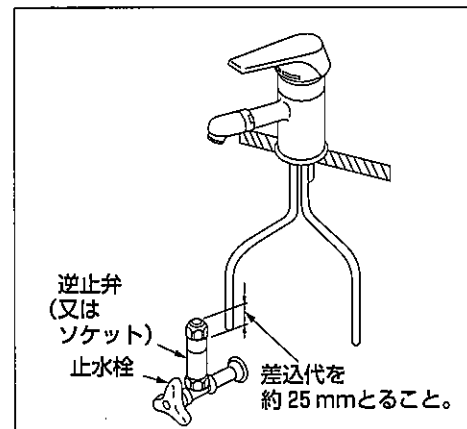
- 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定
- 比例制御タイプの出湯温度：60℃

器具の取付け

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 混合栓の取付け
(1) 混合栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを、止水栓の取出し位置に合うように曲げて広げてください。このとき、出来るだけ直管部が長くなるようにしてください。また給水・給湯パイプがつぶれないように注意してください。
※パイプは回転しますがシールには影響ありません。



- (2) 逆止弁(寒冷地用の場合はソケット)を止水栓に仮固定した後、給水・給湯パイプの必要長さをあたり切断してください。このときパイプの差込代は約25mm確保してください。



※能力手動切替タイプで、水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
能力手動切替タイプ		12号
比例制御タイプ	TOTO カスタム 制御方式	10号
		16号
		20号
	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン ・コンタクト ・アクティ)	16号
		20号
		24号
		アクティ
	TOTOハイトリコン 制御方式	スーパーアクティ
		21号
	TOTO コマンド	24号
24号		
TOTO ハイコマンド	21号	
	24号	

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

(2)貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa
最高圧力………0.75MPa

(3)給水・給湯圧力は**できるだけ同圧**になるようにしてください。

- 給湯に**蒸気を使用しない**でください。
- 湯・水を**逆配管しない**でください。

給水パイプには◎ラベルを、給湯パイプには⊕ラベルを張付けています。

なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

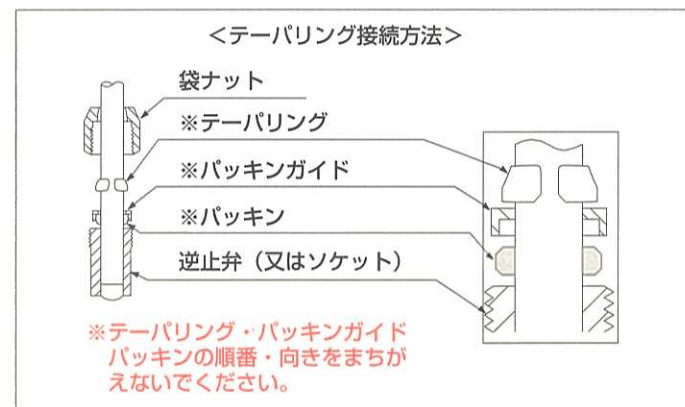
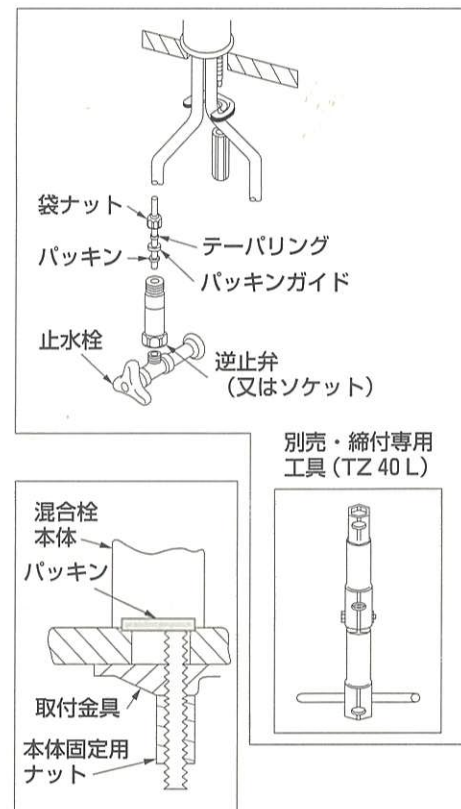
(3)給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、逆止弁 (又はソケット) を差込んでください。次に逆止弁 (又はソケット) を止水栓にねじ込み、混合栓本体を本固定してください。固定には同梱の締付工具又は、別売のナット締付専用工具 (TZ40L) を利用して本体固定用ナットを確実に締めてください。

※混合栓本体を固定する際、本体下のパッキンの取付位置をまちがわないように注意してください。

※水栓を固定する際、取付穴が水栓本体の中心にくるように取付けてください。

(4)最後に、給水・給湯パイプを逆止弁 (又はソケット) にしっかり差し込み、手締後1回転以上締付けてください。

(注)給水・給湯パイプの抜け防止のため給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

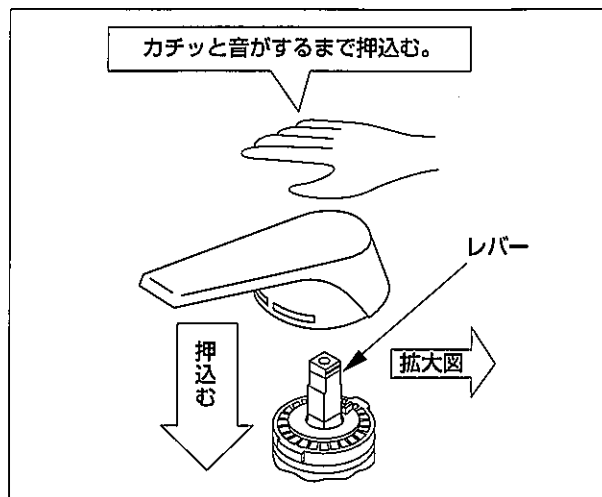


工具について

施工時に、締付工具（TZ40L）がない場合、下記の一般工具でも取付けは可能です。

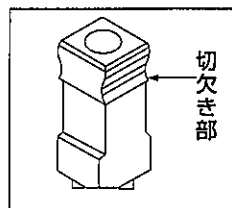
- (1)ソケットレンチ（対辺13mm用）
- (2)T型レンチ（同上）
- (3)ナットスピナーハンドル（同上）

ハンドルの取付要領



このハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。

正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。

万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。

最後に、ハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

お 手 入 れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

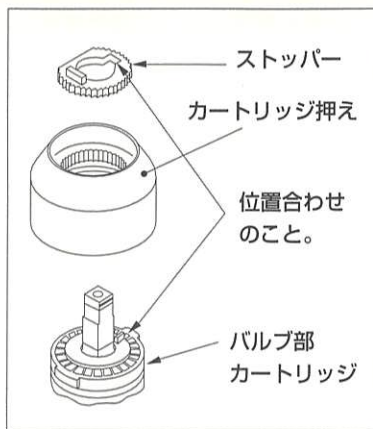
1. ふだんは柔らかい布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、**工具は使用しない**でください。

再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込むこと。

その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。



使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。

レバーハンドルを速く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。

レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、**絶対に分解しない**でください。

寒冷地用の水抜方法

寒冷地用の場合は、器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

〈水抜手順〉

(1)レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げる。

(2)水抜コックを開く。

再生紙を使用しています。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。